

編集後記

私は 1960 年にポーランドと東ドイツが共同で制作した「金星ロケット発進す」という珍しい映画の DVD を入手しました。原作は SF フランスには高名なスタニスワフ・レム、金星が灼熱の惑星であることが知られていなかっただ時代の作品です。

宇宙船で金星に到着した飛行士が見たものは跡形もなく破壊された文明ばかりでした。…やがて、この星にかつて生きていた知的生物が核戦争によって自滅したことが明らかになります。

4 月は北朝鮮の言動のことで世界中がふりまわされました。そのため、あんな国は原爆を落としてつぶしてしまえという人まで出てきました。しかし一方、米韓合同演習という問題もあります。もしも双方が怒りを抑えることができないうまま対立がエスカレートして行けば、その先にいったい何が待っているのでしょうか。

主イエスが、「殺してはならない」という戒めを人間の内面にまでさかのぼって問われた意味を深くかみしめたいと思います。